

ふいさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



色濃しと妻は二度言ふつじかな

仲町 玉野 研一

一坪の無人販売下萌ゆる

緑町 池田 良子

初夏や長患ひのひと逝きぬ

西原町 児玉 久美子

鶯の初音ひびけり空の紺

南桜町 宮腰 幸子

生かされて今年の花も愛でる幸

西岡町 渋谷 みさ子

咲きいるや主なぎ家のクワッカス

旭町 宝澤 房子

子羊の跳ねて若草萌え立ぬ

西町 金澤 頼子

ふらこも使用禁止の札なく

元町 印牧 安子

初蝶や静まる町を低くとひ

仲町 坂部 和子

鮮やかに若葉ぬらして昨夜の雨

元町 西崎 弘子

土堀りぬ蚯蚓に失礼わびながら

仲町 梅基 文子

コナ禍に外出自粛子供の日

旭町 大河 博子

二丁のぼり子等の休校見守りぬ

西町 岸波 君江

田起しや轍の二本くきりと

西町 杉浦 とし枝

音のない母の部屋へと若葉風

藤本町 鈴木 ゆき子

策かかえひと白ほどの蓬摘む

西岡町 高瀬 久美子

山桜散ると知らず咲き満ちる

東町 高橋 世津子

見る人の無き桜花空青し

西町 文梨 清子

女子会の恙なきこと長閑なり

仲町 芳賀 星子